

港区立郷土歴史館

歴史館だより

企画展「未来に伝えよう！みなと遺産」より
発掘調査速報展岡本 康則
(学芸員)

今回の「発掘調査速報展」は、3遺跡を紹介します。1つ目は、高輪三丁目所在の高輪南町遺跡です。高輪南町遺跡という名前の前は、信濃飯山藩本多家屋敷跡という名前でした。『歴史館だより』第8号で紹介された遺跡です。この遺跡はもとは港区No.64遺跡という、番号だけの名前でした。発見年代は古く、大正14(1925)年には、その存在が知られていました。その後、平成26(2014)年に行われた試掘調査の成果により信濃飯山藩本多家屋敷跡遺跡と名前が付けられましたが、平成30(2018)年6月から令和3(2021)年1月まで行われた本発掘調査において、区内最大級の原始・古代の集落跡が発見されました。そのため、江戸時代に存在した武家屋敷の名前ではなく、遺跡がすでに知られていた時期の町名である高輪南町を遺跡名にしました。今回の展示では、出土遺物の中から弥生時代の土器、土製勾玉、銅鏃、古墳時代の土師器、石製勾玉、奈良・平安時代の土師器、須恵器などを展示し、写真パネルとともに当時の生活について紹介します。



高輪南町遺跡で出土した石製勾玉と管玉

2つ目は、麻布台一丁目所在の飯倉町一丁目町屋跡遺跡です。この遺跡は、その名のとおりに江戸時代の町人地である町屋の跡ですが、それだけではなく、町屋の中にある小さな寺院の跡も見つかっています。その寺院からは、大量のかわらけ皿（土器の皿）が発見され、なかには墨書されたものもありました。その文字から、この土器は薬師信仰にかかわるもの

であることがわかりました。今回は出土土器を展示し、江戸時代の人々の信仰の一部を紹介します。



大量のかわらけ皿が出土した様子

3つ目は、西新橋一丁目にある港区No.199遺跡です。この遺跡は、『歴史館だより』第9号で少し紹介されていますが、江戸城外堀の石垣と玉川上水の木樋（江戸時代の水道管）が発見された遺跡です。江戸城外堀は、江戸のまちづくりを語る点で、玉川上水は江戸市中への飲み水供給という点で重要なものです。今回、木樋の展示はできませんが、写真パネルを中心としてこれらの調査時の様子などを紹介していきます。

今年度の「発掘調査速報展」、区内では珍しい原始・古代の遺物が多い展示となっていますので、ぜひお楽しみください。



玉川上水の木樋



港区立郷土歴史館

歴史館だより

資料紹介

描かれた台場

神谷 蘭

(学芸員)

江戸時代末期、開国を要求する外国船の再来に備えて、幕府は大砲を設置する「台場」を造ることを決めました。海上には11基の台場を造る計画で、途中まで建設が進んでいましたが、資金難などもあり途中で中止。結局完成したのは海上の第一～三台場と、第五・六台場、陸続きの御殿山下台場の全部で6基でした。第三・六台場のみ現存し、国の史跡に指定されています。

海上に浮かぶ小さな島の登場は、人々の目に非常に珍しく映ったでしょう。台場の築造を知らせるかわら版などの刷り物や、台場を描いた浮世絵が数多く作られ、市中をにぎわせました。「品川大筒御台場出来之図」は、第一～三台場の姿と台場築造のあらまし、警備担当の大名を記した図です。第一～三台場の間を縫うように、建設真っ最中の第五・六台場も描かれています。

注目したいのは、画面左下の「芝魚濱^{しばうおはま}」です。芝浦・金杉浦は、江戸時代には漁村として栄え、将軍家に魚を献上する「御菜浦^{おさいうら}」として重要な場所でした。本図はかなり位置関係を誇張して描いているものの、魚濱のすぐ近くに台場があることで、人々の生活のすぐそこまで脅威が迫っていたことを物語り、緊張感がたどよみます。



作者不詳「品川大筒御台場出来之図」(当館蔵)

高輪の海岸は景色が美しく、浮世絵に描かれ続けてきましたが、台場が築造されてからは、「東都名所高輪夕景」のように、海岸の風景を構成する要素に台場が仲間入りします。



歌川広重(二代)「東都名所 高輪夕景」(当館蔵)

明治5(1872)年に鉄道開業を迎え、海上の築堤を鉄道が走る様子は浮世絵にさかんに描かれるようになりますが、その背景に台場もしっかりと描かれています。「東京横浜鉄道往返之図」の列車の右斜め上には、明治3(1870)年に第二台場に設置された灯台が描かれており、近代化の様子を見て取れます。



歌川広重(三代)「東京横浜鉄道往返之図」(当館蔵)

令和4(2022)年1月15日(土)から開催される「未来に伝えよう!みなと遺産 新指定文化財展」では、今年度港区指定文化財に指定された「品川台場関連資料」を展示します。各台場の大きさや構造を知ることのできる貴重な資料を、ぜひご覧ください。これらの浮世絵の一部も「新指定文化財展」で展示します。